

令和6年度 連携研究スキームによる研究（政策研連携研究課題）  
研究成果等概要報告書

研究テーマ名	アフリカにおける食料安全保障に関する研究—グローバル・サウスとの関わりにも着目して—
政策研連携研究課題名	西アフリカ（西部）、南アフリカにおける食料安全保障に関する研究
研究実施期間（西暦）	2024年度 ～ 2026年度（3年間）
PO	農林水産政策研究所 上席主任研究官 草野 拓司

## 1 研究の進捗状況等

### ① 西アフリカ（セネガル、モーリタニア、ガーナ）、南アフリカ（南アフリカ共和国）などにおける食料安全保障の実態解明に関する研究

西アフリカのセネガル、モーリタニア、ガーナ、南アフリカの南アフリカ共和国を対象とし、各国における食料安全保障の動向等に関する調査・分析を実施した。

〈学会報告等〉

- ・丸山優樹, Mandiaye Diagne（2024）「セネガルにおける消費者の国産米嗜好への変化：インタビュー調査による整理」『日本沙漠学会大会』2024年5月12日，文教大学．【参考資料1】参照

〈論文等〉

- ・小倉達也（2025）「ガーナ—食料需給と食料の安全保障の動向に関して—（仮）」令和6年度カントリーレポート．（執筆中）
- ・丸山優樹（2025）「西アフリカ地域における持続的な国産米消費：セネガルを事例とした調査研究（仮）」令和6年度カントリーレポート．（執筆中）

### ② グローバル・サウス諸国（タイ、ベトナム、インド、ブラジル、アルゼンチンなど）による対アフリカ戦略に関する分析

グローバル・サウスの一角であるタイ、ベトナム、インド、ブラジル、アルゼンチンを対象とし、各国におけるアフリカへの農産物貿易構造の動向等に関する調査・分析を実施した。

〈学会報告等〉

- ・田澤裕之（2024）「気候変動を背景とした異常気象下における食料の安定供給について」『2024年度（第73回）農業農村工学会大会講演会』2024年9月10～13日 弘前大学文京町キャンパス．【参考資料2】参照

〈論文等〉

- ・井上荘太郎（2025）「タイの農業動向及び，ASEAN諸国の1次産業の相対所得率の変動要因（仮）」令和6年度カントリーレポート．（執筆中）
- ・岡江恭史（2025）「ベトナム—コメ輸出拡大の背景—」令和6年度カントリーレポート．（執筆中）
- ・草野拓司（2025）「インドによるコメの輸出動向（仮）」令和6年度カントリーレポート．（執筆中）

- ・ 草野拓司（2024）「インドにおける食料安全保障政策－化学肥料と植物油の国際価格高騰への政策対応」『国際農林業協力』Vol.47, No.3. 【参考資料 3】 参照
- ・ 田澤裕之（2025）「アルゼンチン－アルゼンチンを取り巻く漁業・養殖業の現状と課題－（仮）」令和 6 年度カントリーレポート. （執筆中）
- ・ 田澤裕之（2024）「世界の食料安定供給に資するグローバルサウス・南米パラグアイの農業」『畑地農業』2024 年 787 号. 【参考資料 4】 参照
- ・ 百崎賢之（2025）「中国－国家安全を最優先、「党の指導」で食糧供給安定と共同富裕実現目指す－（仮）」令和 6 年度カントリーレポート. （執筆中）
- ・ 百崎賢之（2024）「中国の食の安定供給－「食糧」安全保障最重視と「大食物観」－」『国際農林業協力』Vol.47, No.1. 【参考資料 5】 参照

（注 1）全研究期間をととしての研究全体の進捗状況を 5 行程度で簡潔に記載し、当該年度に研究を実施した研究項目ごとの進捗状況を 3 ～ 5 行程度で簡潔に記載すること。

（注 2）学会発表、論文発表等成果の公表状況（リスト）を添付すること。

（注 3）農林水産政策研究所のホームページで公表するため、未公表データや知的財産等に関する事項については、十分に注意して作成すること。また、公表できる内容のみを記載すること。